

第 1 回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会

| | | | |
|------|---|-----|-----------------------|
| 開催日時 | 平成 28 年 9 月 2 日（金） 14：00～15：50 | 場 所 | 東海村役場 行政棟 5 階 災害対策本部室 |
| 出席者 | 委 員／◎小原委員，○井坂委員，久賀委員，川亦委員，坪委員，安尾委員，荒木田委員，原委員， 川崎（敏）委員，宇野澤委員，藤田委員，川崎（道）委員，鈴木（さ）委員，鈴木（千）委員 事務局／村長公室 箭原公室長，企画経営課 関田課長，高橋課長補佐，秋山係長，照沼主事 建設農政部 荒川部長，都市整備課 庄司課長，大友課長補佐，照沼主事，大内技師 欠 席／なし | | |

（◎：委員長，○：副委員長）

○当日の活動・協議内容

1 開会（企画経営課関田課長）

2 村長あいさつ

本日は，第 1 回目の会議にご出席いただき，ありがとうございます。

この委員会は，国道 245 号の 4 車線化拡幅工事や，国体ホッケー競技場である阿漕ヶ浦公園の改修などのハード整備を契機に，大神宮や村松山虚空蔵堂，阿漕ヶ浦公園といった観光資源を持つこの地域に賑わいを取り戻すことを目的としています。村松地区周辺の活性化については，約 2 年前から準備を始めており，今年度の実施計画において「最重点施策」の一つに位置付け，ようやく本日の会議開催に至ったものです。

皆さまからは，これから約 2 年間を目途に様々なご意見を賜り，計画の策定に結び付けたいと思います。本日はキックオフということで，具体的な意見の提案などは次回以降ということになります。この計画は着想段階からの策定であり，自由度が高い反面，まとめるのがなかなか難しいかもしれませんが，その辺りについてもご協力いただけると幸いです。

3 出席委員の紹介

企画経営課関田課長より出席委員の紹介。

4 役場執行部の紹介

企画経営課関田課長より役場執行部の紹介。

5 委員長・副委員長の選任

事務局より，委員長に小原委員，副委員長に井坂委員を推薦し，全員一致で両委員が委員長，副委員長に決定。

6 小原委員長あいさつ

私の専門は地理学で，博士論文ではドイツの農村のグリーンツーリズムを通じた村づくりについて執筆しました。観光あるいは，交流を媒介した地域活性化を研究のテーマとしています。これまでも様々な委員長あるいは，委員を引き受けており，観光に関する委員会にも出席してきま

したが、その際は、観光で直接収入を得ている関係者のみが集まって、どのように収益を上げるか、集客するかについて議論することが多くありました。しかし、東海村では、観光に携わらない方をいかに巻き込むかについて話し合います。まちづくりのためのひとつの手段として観光を捉えるのは初めての経験です。ドイツでは、研究機関や原子力関連機関があるところは、まちづくりが進んでいるところが多いのですが、それは、財政が豊かだからというだけではなく、知識や経験が豊富な方が多く、リタイア後も楽しみながらまちづくりに参加するからです。地域の方が楽しそうにまちづくりに参加していると、外の人もちに興味を持ち、住んでみたいと思ひ、好循環が生まれます。本委員会においても、ぜひ、最初のこの良い雰囲気を最後まで持続していきたいと思ひます。また、計画の対象は3地区ありますが、3地区は結びついていくと思ひます。本日は観光のまちづくりの入口となります。ぜひ、皆様の知恵をお借りし、協働しながら計画を策定していきましょう。

7 井坂副委員長あいさつ

私も、役場に関係する会議にはいくつか出席しておりますが、この会議の開催を非常に楽しみにしていました。4年ほど前、国道245号拡幅や茨城県での国体開催が決定し、私たち、観光協会では手に負えないほどいろいろな課題が見えてきました。そういった中、当時の担当課にランドデザインをしてほしいとお願いしましたが、村の総合計画と全くリンクしていないということもあって、なかなか進みませんでした。このような経緯があり、以前に思ひ描いていたものの、最初の部分で関わる事ができたのは非常に喜ばしいことです。小原委員長のお話の中にもありましたが、観光協会の中で、観光のみで生計を立てている方はほとんどいません。そういった中で、新たな切り口となる活性化の議論ができればと思ひます。

(村長退席、傍聴者入室)

8 議事 (進行：小原委員長)

議題 (1) 東海村 (仮称) 村松地区周辺地域活性化計画策定の概要」について

===資料1～6について説明 (都市整備課 大友補佐) ===

- ・方向性を整理すると、本日の会議においては何かを決定するのではなく、計画策定対象地区の現状を理解していただき、次回以降、膨らませるイメージで進めたい。私の考えでは、中長期的な展望として観光のまち東海村・住みやすいまち東海村のイメージ作りをどうするか。また、短期的には国体開催も視野に入れる必要がある。この2点を頭にいれつつ、3つの地区 (村松周辺、細浦青畝、旧保育所幼稚園用地) にエリアを分けて、今年度から次年度にかけて話し合いを進めるということによろしいか。

また、せっかくの機会なので、議論の前に、東海村の観光の現状について観光協会会長の井坂委員にお話しいただきたい。(小原委員長)

⇒東海村には、観光を目的に来村する方は中々いないのが現状だ。観光資源としては大神宮と村松山虚空蔵堂が不可欠となる。こちらのエリア内43箇所では、現在、ボランティアガイドの方が観光ガイドを行っている。ガイドのことを知っている方は、遠方からもいらっしゃる場合

もある。昨年度のボランティアガイドの利用者は1万人を超したところだ。

2点目として、海浜公園を中心としたひたちなか地区に相当数の方が来ている。ロックインジャパンやネモフィラ・コキアの景観などの観光資源があり、そこから1%でも2%でも人を呼び込めないかと昨年度から意識的に動いている。いきなり大神宮や虚空蔵堂ではなく、中継地点が欲しい。それによって、大空マルシェや阿漕ヶ浦公園、真崎古墳群等、面的なつながりができるかもしれない。更に、今年度、文化デザイナー学院が観光協会及び村と協定を結び、村のPR動画を作成することとなっており、来年の2月頃に動画が完成予定だ。

3点目として、計画の話ではあるが、旅館業の有志の方を中心に八間道路を使ったイベントを検討している。八間道路とは、大神宮の裏から海に向かう砂浜の道路のことだ。ここで8人が8周するリレーマラソンを考えており、スポーツをテーマに交流人口を増やす取組みも行っている。(井坂副委員長)

⇒現状としては、ソフト面が先行しているようだ。これに加えてハード面の整備についても議論していければと思う。それでは、事務局の説明に対し、御意見・御質問があればお願いします。(小原委員長)

<資料1 東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定の趣旨について>

・中段に「東海駅周辺から当該地区への人の流れの誘導…」とあるが、海浜公園からの人の流れについても加えるべきではないか。(坪委員)

⇒ひたちなか地区からの人の呼び込みにより、様々な経済効果が期待できる。御指摘いただいた点について、趣旨に書き加えることは可能かと思う。(関田企画経営課長)

<本計画の対象エリアについて>

・各地区の面的な結びつきも重要だ。今回の計画対象エリアからは、阿漕ヶ浦公園周辺を除くということだが、計画には公園の駐車場からの動線も関わる。ここについては、計画対象に入れるべきではないか。(坪委員)

⇒駐車場を含む阿漕ヶ浦公園の周辺について、計画の対象に入れることは可能だ。(関田企画経営課長)

・「活性化計画の基本コンセプト(案)」について、①～③の3つのエリアがあるが、エリアの考え方を見直すことはしないのか。今後の議論に含めてほしい。(坪委員)

⇒御意見のとおり、阿漕ヶ浦の周辺部分についても検討の余地がある。話し合いの中で、エリアの区域についても柔軟に対応可能かと思う。今後の議論の中で詰めていきたい。(関田企画経営課長)

・資料6を見ると、押延溜が計画対象エリアに含まれてない。自然環境の良い場所なので、個人的には計画対象エリアへ入れてもいいと思う。(川崎敏委員)

⇒エリアの区分に関しては、今後、流動的に組み変えることができる。(関田企画経営課長)

・エリアの名称について、(細浦青畝エリア、旧保育所幼稚園用地エリアと比較して)村松周辺エリアのみ抽象的で、どこだか分かりにくい。ネーミングは変更できないのか。(川崎敏委員)

⇒ネーミングについては、仮称と考えていただき、より良いものがあれば、随時取り入れたい。(関田企画経営課長)

・これから作っていくものなのかもしれないが、パース図に人の流れやエリアのつながりが分か

るような、機能図的なものを付けて議論した方がいいのではないか。(坪委員)

⇒議論の中でルート案も出てくるだろうから、随時取り入れたい。(関田企画経営課長)

<資料4 活性化計画の基本的コンセプトについて>

- ・②の細浦青畝エリアの記述に、「歴史・文化」が抜けているのではないか。天神山や真崎城跡があるので、このキーワードは必要かと思う。一方で、③旧保育所幼稚園用地エリアについて、「歴史」は不要であると思う。(川崎敏委員)

議題(2) 今後のスケジュールについて

===資料7について説明(企画経営課 高橋課長補佐)===

- ・スケジュールについて、エリアを話し合う順番が重要になるかと思う。事務局から、旧保育所幼稚園用地エリアから議論を始めてはどうかと提案があったが、該当エリアは南から来る方にとって、入口になるところだ。そこから議論していこうということは、東海村として何を観光として打ち出せるかということにつながると思う。順番等についてはいかがだろうか。(小原委員長)

<阿漕ヶ浦公園の整備について>

- ・阿漕ヶ浦公園は、国体が終わった後も整備を続けるのか。(川亦委員)

⇒阿漕ヶ浦公園は、今年度の人工芝への張り替えが終わった後も園内の整備が続く。平成29年度から30年度にかけて、遊具広場の整備など、大規模な改修工事を予定している。併せて、国道245号からの進入路(公園入口部分)についても、歩道の整備などを平成30年度までに行う予定だ。(大友都市整備課長補佐)

⇒具体的にどこまでを計画するのか、私たちはどこまで考えればいいのかを教えてください。(川亦委員)

⇒公園施設内についてはすでに設計を組んでいる。公園外の駐車場や、湖畔周辺の整備については今後検討していく。(大友都市整備課長補佐)

<国道245号の拡幅工事について>

- ・国道245号はどこまで工事を行うのか、また、工事のスケジュールはどうなっているのか。(川亦委員)

⇒国道245号については、用地買収の関係で具体的なスケジュール等は決定していない。ただ、国体開催までに原研前交差点から阿漕ヶ浦公園入口までを優先的に工事してもらうよう、県へ要望していきたいと考えている。(大友都市整備課長補佐)

- ・遊歩道や国道245号の拡幅は国体開催までに整備することが決まっているのか。(川崎敏委員)

⇒まだ決定ではない。特に、村松川や新川部分については国体開催までに、拡幅が間に合わない可能性が高い。そのため、用地の確保が進んでいる原研通りから阿漕ヶ浦入口までを優先的に工事してほしいと要望しているところだ。(荒川建設農政部長)

- ・宿地区の渋滞の解消を希望する。旧動燃前から旧原研前までだ。原子力施設が林立しているた

め、国体開催と合わせて要望の際の動機付けとなるのでは。(川崎道委員)

<旧保育所幼稚園用地エリアについて>

- ・事務局説明の中で、子どもの遊び場について触れられたが、周辺地域にはない遊び場の提供を考えたい。水戸市やひたちなか市からも来村したいと思えるような魅力ある場所が必要だ。最近のトレンドとしては、物を置かずに材料のみを用意して、子どもたちがそれで遊ぶ。ただし、危険な部分は、ボランティアの方が見守るような仕組みが必要となる。このような遊び場が人気があるようだ。(小原委員長)
- ・インフォメーションセンターの捉え方についてだが、特に事務局案はない。個人的には、コミュニティレストランやアンテナショップの設置などが考えられる。ハード的なところも関係するが、予算が付く可能性もあるとのことなので、今後、御検討いただきたい。(小原委員長)
- ・入口から議論したとしても、まとめのところで、もう一度全体を検討し直すことになるだろう。次回の委員会では入口のみでなく、全体の動線を考える必要があるかと思う。(坪委員)

<J-PARCの活用について>

- ・原子力機構として、村松周辺エリアにある、J-PARCをいかに活用するかが課題だ。子どもたちに科学に興味を持ってもらえるような取り組みを行いたい。原子力機構としても、国道245号からJ-PARCへの進入路のルート案は考えている。また、震災後、阿漕ヶ浦クラブが更地になり、テニスコートも使えない。原子力機構としてはその辺りも含めた提案をしたい。(藤田委員)

<議論するエリアの順番について>

- ・南から来る方の入口となる場所(旧保育所幼稚園用地エリア)から議論を始めるという話があったが、計画の核となる村松周辺エリアから始めた方がいいのではないかと。(井坂副委員長)
⇒観光資源の要となる村松周辺エリアから検討し始めた方がよろしいか。最後に入口部分について話し合うという手法もある。(小原委員長)
- ⇒エリアの定義による。村松周辺に原子力機構へのアクセスが含まれるかもしれない。どこまでがどこのエリアなのか。それによって、話す内容が異なる。(坪委員)
- ・どこが誰の土地で、どこまで活用できるのか分かるような図面があるといい。既存の土地について検討するのか、それ以外についても検討するのかを知りたい。(川亦委員)
- ⇒今回示したパース図等は、あくまで素案(青写真)だ。保育所幼稚園の跡地については村有地だが、基本的に、それ以外は個人の所有と考えていただきたい。実現性を考えると難しいかもしれないが、パース図については、こういったものを創りたいといったものを描いた。(大友都市整備課長補佐)
- ・この委員会は良くも悪くも自由度が高い。エリアをがっちり固めてしまうより、村の観光資源である、村松山虚空蔵堂と大神宮を中心に検討を進めていき、そこに、J-PARC等も絡めていきたい。地域のことを考えつつ、周辺とのつながりを考えつつ、且つ、議論の中でエリア分けを決定できればと思う。(小原委員長)
- ・次回委員会では、村松周辺エリアから話し合うということで御了承いただいた。阿漕ヶ浦周辺についての検討も村松周辺エリアに関わるので、併せてこの委員会で検討を進めるということ

でお願いします。(関田企画経営課長)

議題(3) その他(事務局より)

- ・本日の委員会で言い切れなかった御意見がある場合は、別紙の意見提案書にて9月30日(金)までに、企画経営課まで御提出いただきたい。電子データの提供も可能なので、必要な方は事務局まで御連絡をお願いします。
- ・次回開催時期については、11月上旬を予定している。文化祭等のイベントと重ならないような日程で調整したい。
- ・次回以降、役場の関係課職員や小原委員長の大学のゼミ生等にオブザーバーとして委員会に同席してもらう可能性があるが、御了承いただけるか。

⇒了承。(一同)

9 閉会(関田企画経営課長)

*****現地での意見交換会*****

同日、16:20~18:00にかけて計画策定対象エリアを歩きながら意見交換を行った。

<参加者>

小原委員長、井坂副委員長、川亦委員、坪委員、安尾委員、川崎(敏)委員、藤田委員、鈴木(さ)委員、鈴木(千)委員

村長公室 企画経営課 関田課長、高橋課長補佐、秋山係長、照沼主事

建設農政部 都市整備課 大友課長補佐、照沼主事、大内技師

<ルート>

村松コミセン駐車場→旧保育所・幼稚園跡地→村松山虚空蔵堂→大神宮→八間道路
→村松晴嵐の碑→さわやかトイレ向かい駐車場(細浦眺望)→村松コミセン駐車場

(以上)